

<ジーコム独自調査レポート No.143>

2021年の暮らし向きと景気予想

福岡県居住者の「暮らし向き」に関する調査

2020年12月

調査概要

1. 調査方法

弊社アンケートモニター「コムネット」登録者に対するインターネット調査

2. 調査対象

福岡県在住の20歳以上の男女

3. 調査時期

2020年12月11日（金）～12月18日（金）

4. 調査規模

434サンプル

【標本構成】

■性	件数	構成比(%)
男性	182	41.9
女性	252	58.1
全体	434	100.0

■年代	件数	構成比(%)
20代	34	7.8
30代	100	23.0
40代	100	23.0
50代	100	23.0
60代以上	100	23.0
全体	434	100.0

■居住地	件数	構成比(%)
福岡市	243	56.0
福岡市以外都市圏	85	19.6
その他福岡県	106	24.4
全体	434	100.0

■職業	件数	構成比(%)
会社員	146	33.6
公務員	8	1.8
団体職員・病院勤務	15	3.5
経営者・会社役員	8	1.8
派遣社員・契約社員	25	5.8
商工自営	18	4.1
農林漁業	1	0.2
自由業	6	1.4
学生	5	1.2
パート・アルバイト	55	12.7
専業主婦(主夫)	106	24.4
無職	37	8.5
その他	4	0.9
全体	434	100.0

■ライフステージ	件数	構成比(%)
未婚	108	24.9
既婚・子どもなし	47	10.8
既婚・子どもが小学生以下	104	24.0
既婚・末子が中学生以上で扶養	61	14.1
既婚・子育て終了	114	26.3
全体	434	100.0

■世帯年収	件数	構成比(%)
200万円未満	33	7.7
200～300万円未満	49	11.4
300～400万円未満	53	12.4
400～500万円未満	37	8.6
500～600万円未満	48	11.2
600～700万円未満	38	8.9
700～800万円未満	43	10.0
800～900万円未満	20	4.7
900～1000万円未満	18	4.2
1000～1500万円未満	24	5.6
1500万円以上	4	0.9
わからない	62	14.5
全体	429	100.0

* 学生除く

【報告書の見方】

- ・本文及び図中に示した調査結果の数値は小数点以下第2位を四捨五入しているため、全項目の回答比率の合計が100.0%とならない場合や合計値に誤差が生じる場合がある。
- ・複数の回答を求めた質問では、回答比率の合計が100.0%を超えることがある。
- ・報告書中の図表では、コンピューター入力の都合上、回答選択肢の表現を短縮している場合がある。

1. 暮らし向きの変化

暮らし向き判断指数は、前年から大きく減少。20代を除くすべての年代で値がマイナスに。

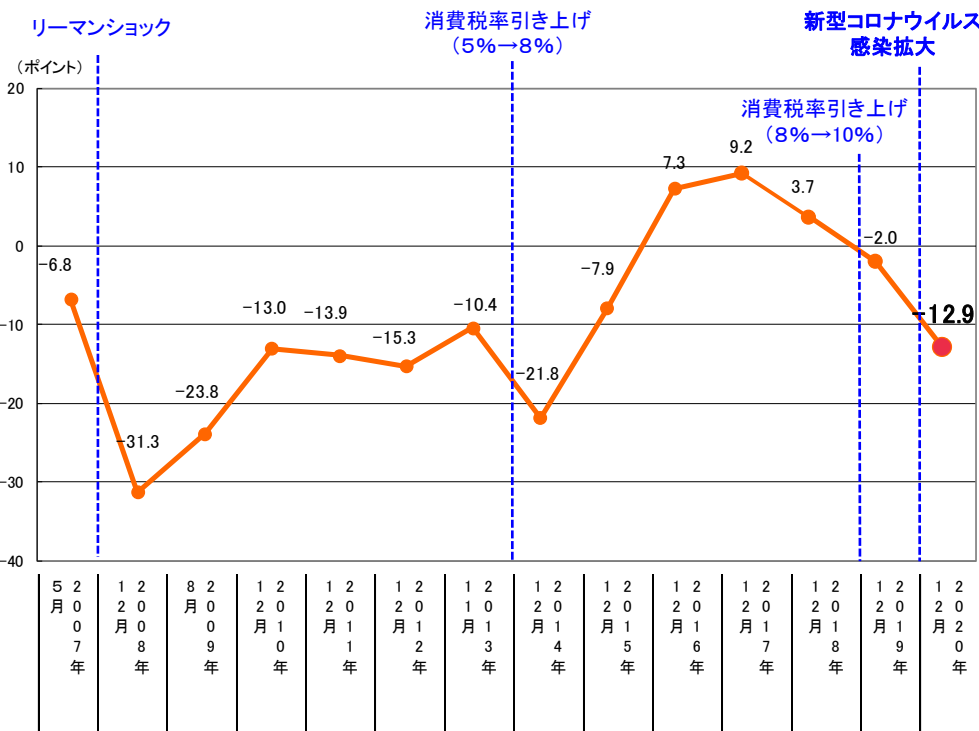
1年前と比べ暮らし向きが「良くなった」「どちらかという良くなった」と回答した割合から、「悪くなった」「どちらかという悪くなった」と回答した割合を減じた『暮らし向き判断指数』は、-12.9ポイント。前年の-2.0ポイントから大きく減少した。

- ・性別では、男性は女性に比べて暮らし向き判断指数が低い。
- ・年代別では、20代を除くすべての年代の暮らし向き判断指数はマイナスであり、特に50代は他の年代に比べて低い。
- ・世帯年収別では、どの層も暮らし向き判断指数はマイナスであり、特に300万円未満層は他の層に比べて低い。

◆ 1年前と比べた暮らし向きの変化【単一回答】

	調査数	【%】					【%】		【ポイント】	
		良くなった	良くなかった	どちらかというともいえない	悪くなった	悪くなかった	肯定層	否定層	暮らし向き判断指数	暮らし向き判断指数
全体	434	2.5	10.4	61.3	18.4	7.4	12.9	25.8	-12.9	-2.0
性別										
男性	182	2.7	7.7	63.2	19.2	7.1	10.4	26.4	-15.9	-7.8
女性	252	2.4	12.3	59.9	17.9	7.5	14.7	25.4	-10.7	2.3
年代別										
20代	34	11.8	32.4	38.2	8.8	8.8	44.1	17.6	26.5	18.4
30代	100	3.0	12.0	60.0	20.0	5.0	15.0	25.0	-10.0	11.0
40代	100	2.0	13.0	55.0	20.0	10.0	15.0	30.0	-15.0	3.0
50代	100	1.0	5.0	64.0	19.0	11.0	6.0	30.0	-24.0	-6.0
60代以上	100	1.0	4.0	74.0	18.0	3.0	5.0	21.0	-16.0	-26.0
世帯年収別										
300万円未満	82	2.4	7.3	53.7	22.0	14.6	9.8	36.6	-26.8	-24.4
300～500万円未満	90	5.6	7.8	58.9	20.0	7.8	13.3	27.8	-14.5	-8.5
500～700万円未満	86	3.5	12.8	62.8	16.3	4.7	16.3	20.9	-4.6	8.8
700～900万円未満	63	1.6	11.1	71.4	12.7	3.2	12.7	15.9	-3.2	14.3
900万円以上	46	-	8.7	73.9	15.2	2.2	8.7	17.4	-8.7	11.3

◆ 暮らし向き判断指数の推移



* 肯定層＝「良くなった」+「どちらかという良くなった」
 否定層＝「悪くなった」+「どちらかという悪くなった」
 暮らし向き判断指数＝肯定層-否定層

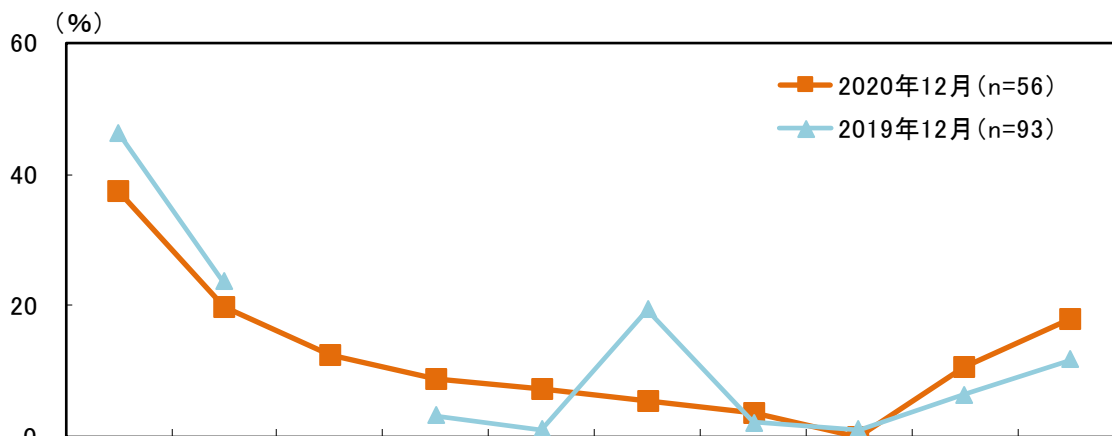
2. 暮らし向きが良くなった理由 ※暮らし向き肯定層限定

前回調査から「世帯主の収入増」「共働き」の割合が大きく減少。「コロナ禍による外出自粛」が上位に。

1年前と比べて、暮らし向きが「良くなった」「どちらかという良くなった」と回答した人にその理由を聞いたところ、「世帯主の収入が増えたから」の割合が37.5%で最も高く、次いで「節約して支出を減らしたから」19.6%、「新型コロナウイルスの影響で外食やレジャーの出費が減ったから」12.5%の順であった。

・サンプル数が少ないため、属性別の分析は省略した。

◆暮らし向きが良くなった理由【複数回答】



調査数	世帯主の収入が増えた	節約して支出を減らした	新型コロナウイルスの影響で外食やレジャーの出費が減った	同居家族の人数が減った	同居している子どもが社会人になった	共働きするようになった	世帯主が副業を始めた	住宅などのローンから支払いが終わった	その他	特にない・わからない
2020年12月	56 ↑ 37.5	19.6	12.5	8.9	7.1	↑ 5.4	3.6	-	10.7	17.9
2019年12月	93 ↑ 46.2	23.7	3.2	1.1	↑ 19.4	2.2	1.1	6.5	11.8	

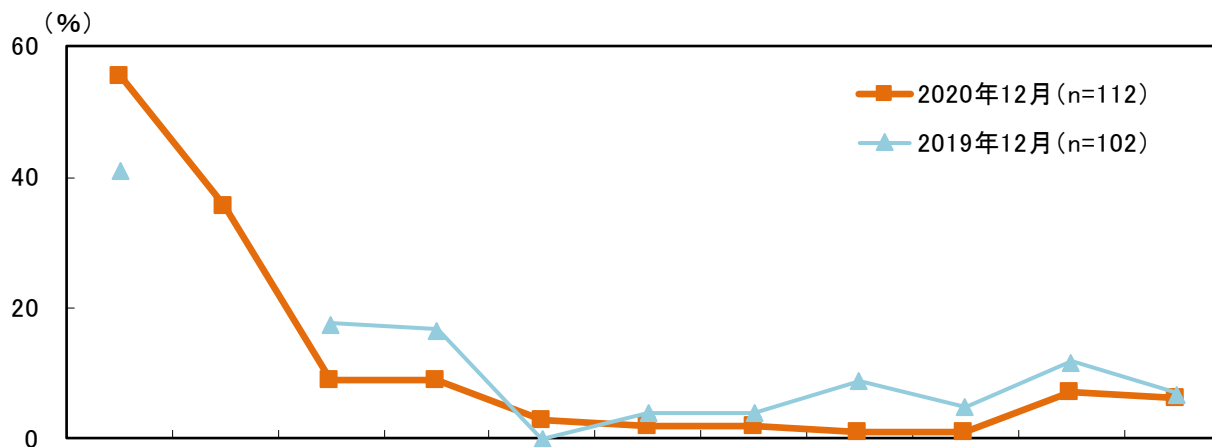
3. 暮らし向きが悪くなった理由 ※暮らし向き否定層限定

前回調査から「世帯主の収入減」が大きく増加し、過半数を占める理由に。「コロナの影響による出費増」も3割強で第2位。

1年前と比べて、暮らし向きが「悪くなった」「どちらかという悪くなった」と回答した人にその理由を聞いたところ、「世帯主の収入が減ったから」の割合が55.4%で最も高く、次いで「新型コロナウイルスの影響で出費が増えたから」35.7%、「家族の病気治療や介護が必要になったため」8.9%の順であった。

・サンプル数が少ないため、属性別の分析は省略した。

◆暮らし向きが悪くなった理由【複数回答】



調査数	世帯主の収入が減った	新型コロナウイルスの影響で出費が増えた	家族の病気治療や介護が必要になったため	教育費が増えたから	世帯主が副業をやめた	同居家族の人数が増えた	住宅などのローンの支払いが始まったから	共働きをやめたから	別居している家族への仕送りが必要になった	その他	特にない・わからない	
2020年12月	112	55.4	35.7	8.9	8.9	2.7	1.8	1.8	0.9	0.9	7.1	6.3
2019年12月	102	41.2	17.6	16.7	-	3.9	3.9	8.8	4.9	11.8	6.9	

4. 2021年の暮らし向き予想

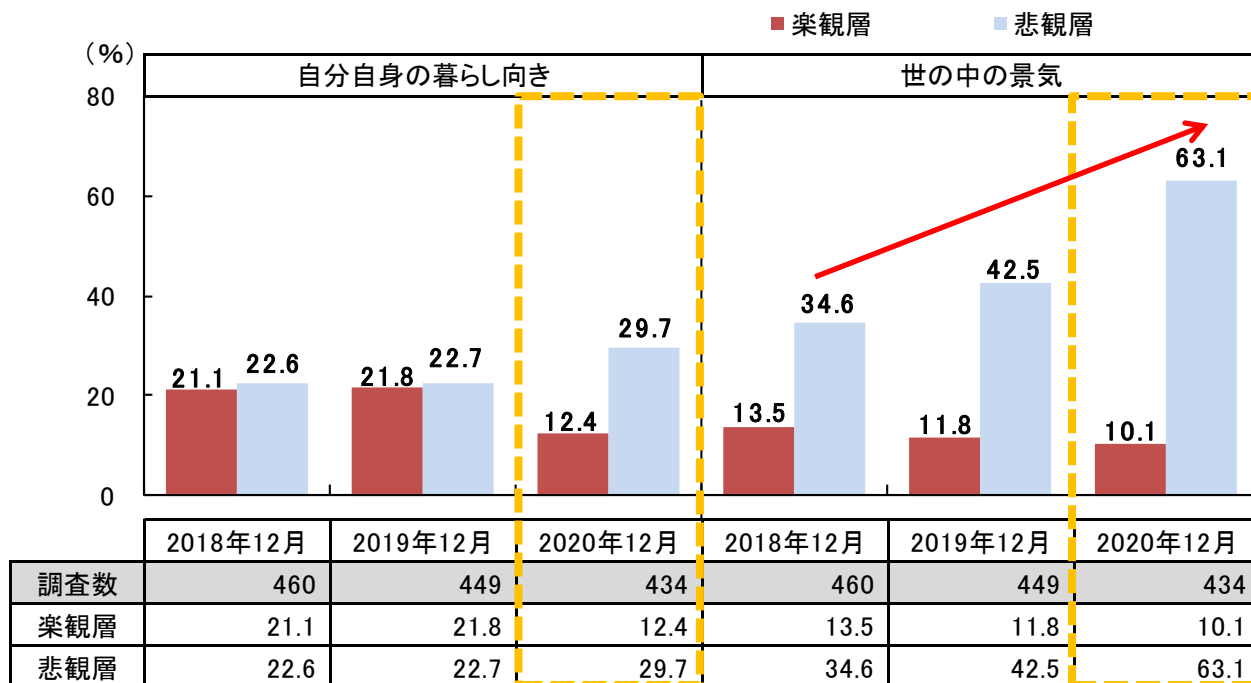
世の中の景気を悲観する割合が6割強と、前回調査から大きく増加。

2021年の『自分自身の暮らし向き』について、「良くなる」「どちらかという良くなる」と回答した楽観層の割合は12.4%、「悪くなる」「どちらかという悪くなる」と回答した悲観層の割合は29.7%である。過去2回の調査と比較して、楽観層が減少し、悲観層が増加した。

また、2021年の『世の中の景気』については、楽観層の割合は10.1%、非楽観層の割合は63.1%となっており、前々回調査から悲観層の割合が大きく増加し続けている。

- ・性別では、女性は男性に比べて、世の中の景気で悲観層の割合が高い。
- ・年代別では、20代は他の年代に比べて、自分自身の暮らし向きで楽観層の割合が高い。
- ・世帯年収別では、900万円以上層は他の層に比べて、自分自身の暮らし向きで悲観層の割合が高い。

◆2021年の暮らし向き予想【単一回答】
*楽観層と悲観層抜粋



*楽観層＝「良くなる」+「どちらかという良くなる」、悲観層＝「悪くなる」+「どちらかという悪くなる」

◆2021年の自分自身の暮らし向き予想【単一回答】

		調査数	【%】				【%】		
			良くなる	どちらかという 良くなる	どちらかという 悪くなる	悪くなる	楽観層	悲観層	
全体		434	3.7	8.8	57.8	22.8	6.9	12.4	29.7
性別	男性	182	4.4	7.7	57.7	24.2	6.0	12.1	30.2
	女性	252	3.2	9.5	57.9	21.8	7.5	12.7	29.4
年代別	20代	34	5.9	23.5	52.9	17.6	-	29.4	17.6
	30代	100	7.0	8.0	60.0	19.0	6.0	15.0	25.0
	40代	100	5.0	6.0	53.0	25.0	11.0	11.0	36.0
	50代	100	2.0	12.0	54.0	24.0	8.0	14.0	32.0
	60代以上	100	-	4.0	66.0	25.0	5.0	4.0	30.0
世帯年収別	300万円未満	82	3.7	6.1	59.8	18.3	12.2	9.8	30.5
	300～500万円未満	90	3.3	13.3	52.2	27.8	3.3	16.7	31.1
	500～700万円未満	86	5.8	5.8	58.1	23.3	7.0	11.6	30.2
	700～900万円未満	63	3.2	9.5	66.7	15.9	4.8	12.7	20.6
	900万円以上	46	4.3	4.3	50.0	32.6	8.7	8.7	41.3

◆2021年の世の中の景気予想【単一回答】

		調査数	【%】				【%】		
			良くなる	どちらかという 良くなる	どちらかという 悪くなる	悪くなる	楽観層	悲観層	
全体		434	1.2	9.0	26.7	45.4	17.7	10.1	63.1
性別	男性	182	1.1	9.9	31.9	37.4	19.8	11.0	57.1
	女性	252	1.2	8.3	23.0	51.2	16.3	9.5	67.5
年代別	20代	34	-	11.8	35.3	29.4	23.5	11.8	52.9
	30代	100	2.0	7.0	27.0	46.0	18.0	9.0	64.0
	40代	100	1.0	8.0	29.0	41.0	21.0	9.0	62.0
	50代	100	-	14.0	24.0	51.0	11.0	14.0	62.0
	60代以上	100	2.0	6.0	24.0	49.0	19.0	8.0	68.0
世帯年収別	300万円未満	82	1.2	11.0	30.5	43.9	13.4	12.2	57.3
	300～500万円未満	90	3.3	8.9	26.7	43.3	17.8	12.2	61.1
	500～700万円未満	86	-	7.0	23.3	46.5	23.3	7.0	69.8
	700～900万円未満	63	-	7.9	25.4	58.7	7.9	7.9	66.7
	900万円以上	46	-	13.0	17.4	45.7	23.9	13.0	69.6

* 楽観層 = 「良くなる」+「どちらかというと良くなる」、悲観層 = 「悪くなる」+「どちらかというと悪くなる」

発行元：株式会社ジーコム

福岡市中央区天神4丁目1-1 第7明星ビル7F

TEL 092-761-0221

FAX 092-761-0228

URL：<https://www.gcom-net.co.jp/>

E-mail：inq@gcom-net.co.jp